

## そら組デイキャンプ



今年はデイキャンプという形になりました。園生活だけでは感じる事ができないたっぶりの自然を直接体験することができました。長い距離のハイキングも元気に歩き切り、心も少し強くなりました。



### 10月

1日	運動会リハーサル	22日	歯科健診
	おひろめ会	23日	誕生会
10日	運動会	28日	内科検診
13日	避難訓練	30日	そらぐみ
14日	就学時視力・聴力検査		磐山登山
16日	健脚活動		
19日～	個別懇談		
21日	山陽東小就学時健診		



### 11月

10日	避難訓練
20日	誕生会
27日	健脚活動

## 避難訓練

園では毎月避難訓練を実施しています。先月は防災週間もあり、地震からの火災を想定した訓練を行いました。まず、地震発生の放送を聞き、物が落ちてこない、倒れてこない、移動してこない場所を子どもたちと一緒に確認をして、机の下や保育室の中央で身を守る体制をとりました。「天井の扇風機も落ちてくるかもしれないよね?」「この棚は倒れてこない?」などの職員の声かけに、子どもたちも周りを見渡し、「ここは安全か」「物は落ちてこないか」と考えるなど避難訓練を通して、子どもたち自身の「身を守る」意識も高まっています。

避難訓練は、いざという時に命を守るための大事な訓練です。今一度、子どもたちと避難の仕方や命の守り方を確認していき、繰り返し行うことで判断を間違わないようにしっかり取り組んでいきたいと思っています。

寺見 佳穂

## いちょうの森だより



いちょうの森こども園 園だより No.37



いちょうの森こども園 HP には、QR コードまたは下記の HP アドレスよりアクセスできます。

<https://ichounomori.okayamakodomokyoukai.jp/>

令和2年度10月1日 発行  
いちょうの森こども園 園だより  
桜が丘東3-3-496  
TEL 086 (956) 2022  
FAX 086 (956) 2023



『こどもの思いを汲み取って』



「一緒に遊ぼう」「一緒に〇〇する?」そんな声が飛び交うようになってきたにじ組の子どもたち。時にはぶつかることもあるけれど、「友だちと一緒に」ということが嬉しい気持ちを感じられます。

ある日、砂場でAさんとBさんが遊んでいました。そこへ、Cさんがやってきて突然Aさんが使っていた道具をとってしまいました。私はとっさに「Cさん、友だちが使っていたものをはいけないよ」と言いました。AさんとBさんも嫌な気持ちになったのかCさんから距離をとるようになってしまいました。いつもなら気にせず遊び続けるCさん。しかし、その時ばかりはピタッと手が止まり、俯いたままでした。そこで私は、「もしかしたらCさんはAさん、Bさんが使っていた一緒にの道具を持つことでAさん、Bさんと一緒に遊べると思い、とってしまったのかな?」と考えました。それからCさんに「一緒に遊びたかったの?その時は入れてって言えたらよかったね」と伝えると、Cさんは立ち上がり二人のもとへ行き「入れて」と言いました。二人も「いいよ」との返事。それからは3人でごちそうづくりを楽しんでいました。

日常の中で友だちとのぶつかり合いは避けては通れない道。よくあることから簡単に済ませてしまうのではなく、その都度こどもの気持ちを汲み取りながらお互いが気持ちよい関わりができるようにしていきたいと思っています。

金光 華子



## そらぐみ

春から育て始めた稲が稲穂をつけ、収穫する日が来ました。鎌を使つての稲刈り体験はドキドキしましたが、自分の育てた苗を丁寧に一束づつ刈ることができ、手に持つと達成感がありました。長い時間かけてする米作りは大変なことも多かったので、無事に刈ることができ子どもたちと収穫を喜びました。精米して食べる日が待ち遠しいです。



# くらしの自慢!

## にじぐみ

職員が出勤している姿が見えると「先生、おはよう」と真っ先に声をかけ、おやつのお茶を入れたコップを渡すと「ありがとう」とお礼。友だちのお迎えが来ると「バイバイ」と、さようならのあいさつ。当たり前のことを当たり前に行きとることが、にじ組の自慢です。



## ゆきぐみ



ゆき組の自慢は、とってもよく食べるところです。暑い夏も食欲は落ちず、体力を使うからそれまでよりももりもりとよく食べていました。たくさん食べるだけでなく「いやー」と言うこともあります。苦手の食べ物にも挑戦しています。よく食べる。何でも食べる素敵なことですね。たくさん食べて大きくなあれ。

## ほしぐみ



ほし組は、身体を使って遊ぶあそびや戸外で遊ぶことが大好きです。9月に入って、何度も挑戦している戸板登りも、職員が「戸板登りするよ～」と声をかけると、「戸板登りするって! やった～!」と一目散にやって来ます。帰りの準備をしている時には、毎日のように職員に「今日は外に出てあそべる日?」と尋ねては、戸外遊びを楽しみにしています。園庭で身体を使って遊んだり、虫探しに夢中になったり、元気いっぱいあそべるところがほし組自慢です。

「片付けしよう」と声をかけると、せっせと玩具をしまいます。そして、ニコニコしながら手をパチパチ叩いて自画自賛をしているはな組さん。片付け上手です!

その日のAちゃんはまだ布団に入りたくないようでした。「じゃあ、片付け一緒にする?」と声をかけると、隅に落ちている玩具まで片付けていました。そして、片づけをしたことでスッキリしたようで布団に自分からやってきました。

## はなぐみ



## つきぐみ

つき組自慢は、ズバリ『ノリが良い!』ところです。保育者が「踊りをする?」と投げかけると子どもたちからは、「いえーい!」と喜びの歓声が上がります。どんな音楽を流してもノリノリで踊る子どもたちに「すごいな」と感心するほどです。子どもたちからは、「あれしたい」「これしたい」とたくさんのリクエストが出ます。保育者もそれになるべく応えられるように関わっていきたいと思っています。



## 人権キャラバン



～ピンク色って女の子の色?～

KくんとCちゃんが折り紙をえらんでいました。Kくんが「僕、好きなピンクで折ろう。Cちゃんは何色にする?」Cちゃんは「う～ん、どうしようかな…」と悩んでいると、そこにチクチクの心のじんおくんがやってきました。「男の子なのに、ピンク色? おかしいな～ピンク色は女の子の色だね」と言います。フワフワの心のけんこちゃんがやってきて「男の子がピンク色を好きでもいいと思うよ。誰がどんな色を好きでもいいんじゃないのかな?」と言います。そのやりとりを見て、みんなで考えました。このような「男の子だから」「女の子だから」ということが、日常でもありませんか? 自分が好きと思うものを選ぶ権利はみんなあります。そしてその気持ちを認め合える関係や環境づくりを大切にしていきたいですね。